

各セクションの報告・情報

THE 現場

たまり場ぱれっと

～未来は未知数！可能性は無限大！～

一昨年1月に始動しました『劇団ぱれっと』ですが、コロナ禍により活動休止を余儀なくされました。しかし、今年の10月、満を持して活動を再開しました！今回は劇団への想いや活動について、皆さまにお届けしたいと思います。

●大好きな演劇を大好きなぱれっとで！

座長の渡辺藍子さんに、劇団ぱれっとを立ち上げたきっかけについて聞きました。「私は、演劇が好きで沢山のお芝居を観劇してきました。その後、演劇のワークショップを受けました。それをきっかけに、自分にも何かできることがあるかもしれないと思い、以前から関わりのある大好きなぱれっとで、皆さんとお芝居がやりたいと思い立ち上げました。」座長の情熱は劇団員にも伝わり、ぱれっとらしい和気あいあいとした雰囲気と見事にコラボレートし、楽しく活気溢れる活動の場となっています。

そして、劇団ぱれっとには、活動に欠かせないボランティアの存在があります。ボランティア兼劇団員の小野地舞花さんは、参加したきっかけについてこう話します。「皆さんと何か一つのものを作り上げるということに魅力を感じました。演劇は全くの未経験なのでドキドキでしたが、せっかくボランティアをやるなら継続的に関わることがいいなと思い参加を決めました。座長の演劇に対する思いに惹かれたのもその理由です！」

では、実際に参加してみたの感想は？「練習を重ねるごとに皆さんが成長する姿を見て毎回感動しています！一生懸命挑戦しようとしているのが伝わってきます。ボランティアとしては様々な方法で関わることができますし、いい劇団にするために意見を出し合っています。演出や台本作成などイチから学ばせていただいているので、早く力になれるよう頑張ります！」そう笑顔で語ってくれました。

●新しい“色” 私たちの劇団ぱれっと

最後に、座長に今後の展望について聞いてみました。「劇団ぱれっとで、まずは、舞台の本番に臨むこと。お客様に私たちのお芝居を見ていただくことを目標にしたいです。そして、どんなジャンルの作品もチャレンジしていければと思います。私は、劇団ぱれっとと劇団員が大好きです。ずっと一緒に楽しく演劇をやりたいです！」座長の思いと、ボランティア、そして劇団員の想いが混ざり合い、ぱれっとにまた一つ、新しい“色”が誕生したようです。



【和気あいあいの劇団ぱれっと】（なかい）

おかし屋ぱれっと

～田代さんのヒーローフォント
が採用されました！～

一昨年、田代和裕さんが描き桑沢デザイン研究所の学生さんがデータ化した「ヒーローフォント」が、株式会社トラストワーク様の企業ロゴに採用されました！代表の蔭山幸司様がヒーローフォントに込められた想い—みんながそれぞれのストーリーを生き、ヒーローです。わたしのヒーローは、わたしだ。そんな力強さや、ゲームのようなワクワク感をイメージしたフォントです—に感銘を受け、共感して下さったのです。去年の11月には蔭山様がおかし屋ぱれっとのカフェにご挨拶に来て下さいました。田代さんの想いが沢山の人の心に届きますように。(まつもと)



【蔭山様、田代さんとのツーショット】

ぱれっとホーム

～ハロウィンパーティー～

10月にしぶや・ぱれっとホームで入居者のKさんの発案で初のハロウィンパーティーを行ないました。ピザをデリバリーで頼み、お菓子やジュースなどを入居者のみなさんと楽しみました。現入居者全員が揃ってのパーティーは今回のハロウィンパーティーが初めてでした。コロナ禍になってからは食事の時間を分けていたので、全員がリビングルームに揃っての食事は初めての事で、最初は少し戸惑いも感じられましたが、ピザを分けてそれぞれが思い思いに食べつつ、賑やかな時間を楽しんでいました。ピザのおかわりをしたり、好きな飲み物を飲んだり、お菓子を食べたりしながら、いつもよりもゆっくりと食事を楽しみました。(はぎわら)

ぱれっとの家 いこっと

～年末大掃除～

12月12日(日)、年末恒例の大掃除を実施しました。一時期入居者が減ってしまい、寂しい時もありましたが、11月から7名の入居者となっており、この日のミーティングと大掃除は役割分担をして、大変賑やかな時間となりました。カーテンの洗濯、床のワックスがけ、冷蔵庫の内部、外回りなど、普段はなかなか出来ないところを重点的に皆で協力して掃除しました。こうした作業もさることながら、この時間は入居者同士や、いこっとサポットの会メンバーも参加するコミュニケーションの場でもあります。本来ならばお疲れ様のパーティー・・・といきたいところでしたが、コロナ禍でもあり、そこはぐっと我慢。でも大変有意義な時間となりました。(みなみやま)